

令和 6 年度 法定協議会事業及び予算のたたき台について

1 持続可能な移動手段の確保に向けた検討・実施

既 利用実態に係るデータの共有・分析

移動サービスの最適化に向けた検討材料として、関係者間で乗降者数などのデータを共有するとともに、データの分析を実施

予算 なし

既 移動サービスの最適化に向けた検討

関係者による移動サービスの最適化に向けた検討

予算 なし

2 シームレスな乗り継ぎ環境の改善

既 交通結節点の機能強化

交通結節点における運行ダイヤや導線の実態調査及び分析

予算 なし

3 バス運転手の確保

新 魅力発信動画の作成 (バス運転手の業務や魅力の発信)

バス運転手の業務や魅力を発信するため、3分程度の動画を作成

⇒ 作成した動画は就職相談会や高校生に対する職業紹介(※資料 2 - 2 参照)などで放映するとともに、ホームページや SNS でも広く周知

予算 300 千円

新 移住フェアへの出展 (移住施策との連携推進)

⇒ 本州(東京都)で開催される「北海道移住交流フェア」での出展を想定
※資料 2 - 3 参照

予算 500 千円

既 合同就職相談会の開催 (人材確保の取組)

北見運転免許試験場にて運転体験合同就職相談会を開催

予算 150 千円

4 公共交通の利用促進活動

㊦ クリスマスバスの実施（公共交通利用促進イベントの実施）

公共交通利用促進を図るため、幼児が飾り付けをした路線バスを運行

予算 170 千円

※ 広報にあたっては、道庁や市町村の広報媒体等はもとより、「オホーツク流氷トラスト応援団」などの枠組みの活用も想定

5 協議会運営

年2回の総会等の運営経費

予算 380 千円

合計 1,500 千円

(1 団体あたり 80 千円)

【参考】令和6年度事業・予算（案）に対する委員からの主な意見

- 市町村
 - ・ 市町村をまたぐ路線の方向性の検討については、振興局が調整役となることを期待している。
 - ・ バスの運転手確保は喫緊の課題であるが、各市町村ごとに採用説明会を実施するとバス事業者間で実施回数に差がついてしまうので、合同で採用説明会を実施してほしい。
 - ・ 管内だけでなく、管外でも採用説明会を実施してみてもどうか。
 - ・ 公共交通の利用促進活動は引き続き継続すべき。
- バス事業者
 - ・ まずは運転手確保に繋がる事業をやってもらいたい。
 - ・ 運転手の奪い合いにならないよう、本州でも説明会を開催してみてもどうか。
 - ・ バス運転手の仕事内容や魅力が伝わるような発信をしていく必要がある。